

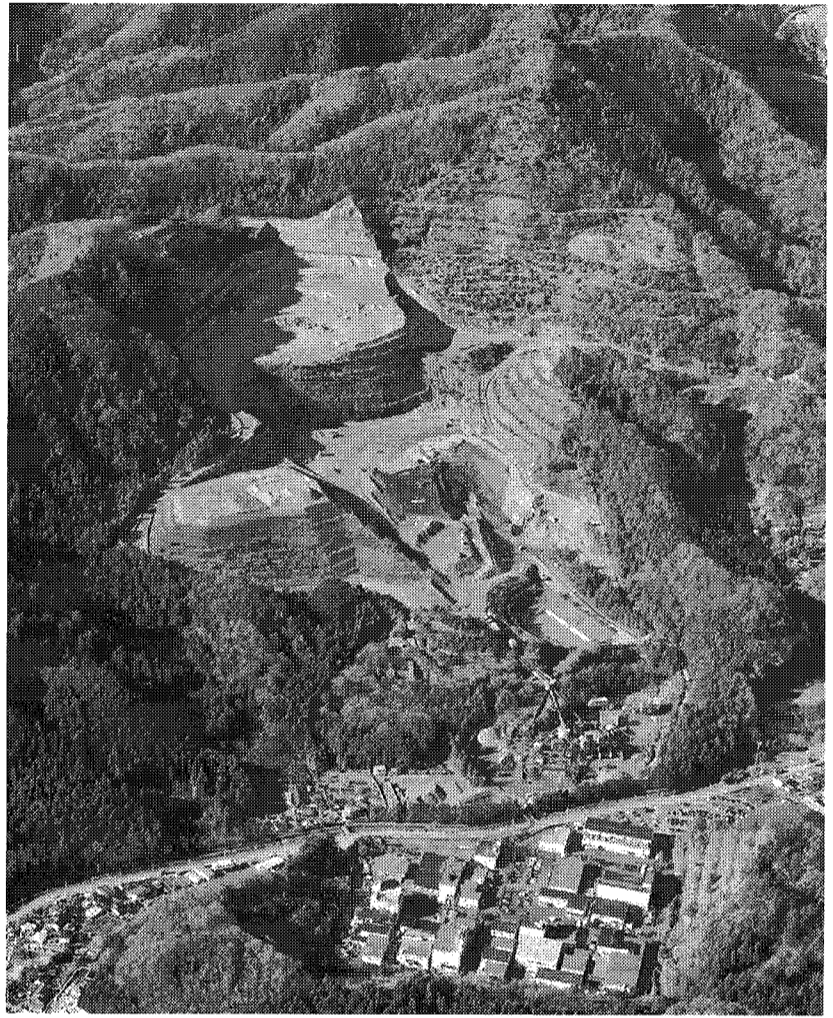
地域社会の発展に注力

骨材企業は今

～現状と今後の課題～

芳村石産

芳村石産(本社・東京都八王子市、芳村尚之社長)は今年8月、設立50周年を迎えた。美山事業所に各種設備を導入し、生産の効率化、労働環境の安全確保、公害防止に努める。堅実な工場運営で、地域社会の発展のため注力する同社取材した。

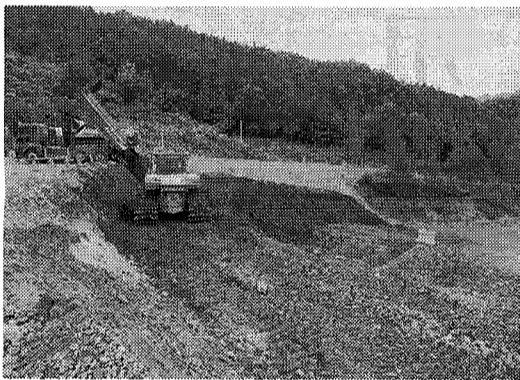


芳村尚之社長

堅実運営で50年

芳村石産の前身の石萬商店は1961年4月に創業し、八王子市の浅川(多摩川支流)で河川砂利の採取を開始。トロンメルを中心とした洗浄選別プラントで各種砂利製品を生産し販売した。64年8月に法人化、芳村石産(芳村光雄社長)を設立。多摩川水系の砂利採取の全面禁止にともな

(同)を導入(需要家の要望により82年に湿式設備に切り換える)。その後、需要また事業環境の変化にともない採石区域を拡張、各種設備を増設する。2006年8月、関東地区で4番目となる新JIS (JIS A5 005、コンクリート用砕石・砕砂、認証機



建設発生土受け入れは20万㎡に



崩落対策は万全

外環道で残土受入増 リニアで需要増に期待

今期は、東京外かく環状道路の工事などで残土受け入れ量が増加。一方、砕石出荷量は微減と見込む。今後のリニア工

建設発生土の受け入れ

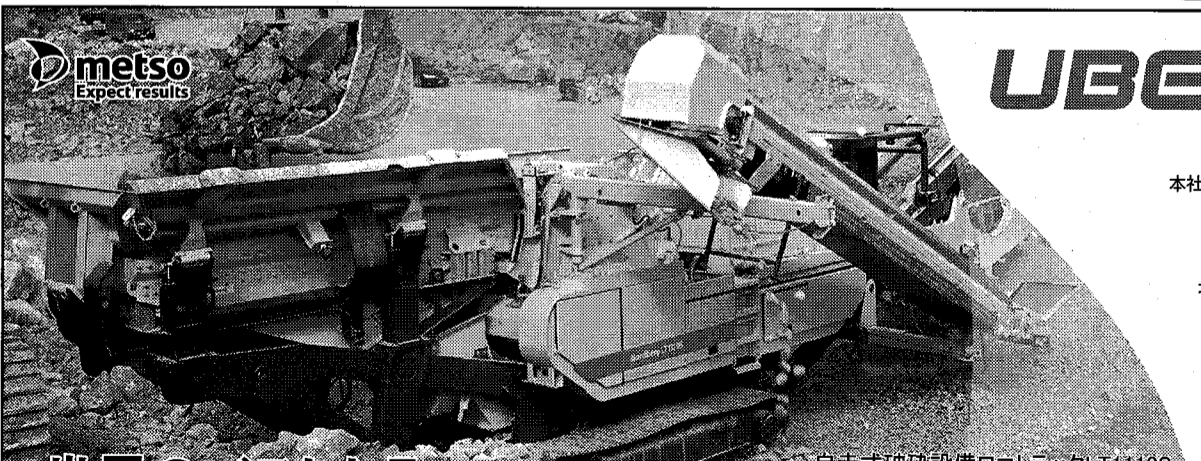
の縮小などによるコスト削減に努める。

09年4月、建設資源広域利用センター(UCR)から建設発生土の受け入れを開始。地元住民の同意の下、13年度から受け入れを本格化する。

は東京活用土協同組合(組合員8社)が窓口。13年度組合受入量84万㎡のうち18万6千㎡を美山事業所で受け入れた。今期受入量を約20万㎡と想定する。受入価格は昨

会社データ	
設立:	1964年8月
本社:	東京都八王子市大楽寺町2番地
社長:	芳村尚之
資本金:	2500万円
従業員:	30人

砕石・砕砂プラントを自走式砕石プラント「ロコトトラックシステム」(メッツオ社製、宇部興産機械設計・施工)と骨材水洗分級・砕砂生産設備に更新。14年8月から本格的に移働させる。14年5月期の売上高は13億5200万円(うち建設発生土受入事業は4億7千万円)。砕石出荷量は42万8千ト(2005が27万ト、砕砂11万4千ト、クラッシュヤーンや4号など4万4千ト)。取引先(生コン工)に上乗せしている。運賃については別途交渉。電気、軽油、消耗品などの値上がりで、コストは増加。こうした窮状への需要家の理解もあり、値上げが通った格好となった。



世界のベストセラー 「ロコトラックシリーズ」

- #### ロコトラック(破碎機・選別機)の特長
- 採掘コストを大幅低減
 - 豊富な製品ラインナップ
 - インテリジェントコントローラ標準装備により容易な操作
 - 万全のアフターサービス

- ジョークラッシャ搭載型
- インパクトクラッシャ搭載型
- コーンクラッシャ搭載型
- クラッシャ&スクリーン搭載型
- スクリーン搭載型

UBE / 宇部興産機械株式会社

本社&宇部サービスセンター 〒755-8633
(破碎機グループ) 山口県宇部市大字小串沖の山1980番地
TEL(0836)34-5942 FAX(0836)22-6110

北海道サービスセンター 〒007-0837
北海道札幌市東区北三十七条東28丁目6番1号
TEL(011)789-1170 FAX(011)784-4501

東北サービスセンター 〒020-0834
岩手県盛岡市永井20-5-1 OTHビル2階
TEL(019)632-6151 FAX(019)632-6152

大宮サービスセンター 〒331-0811
埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目175番地10
TEL(048)652-6531 FAX(048)652-6532

大阪サービスセンター 〒567-0036
大阪府茨木市上穂積1丁目2番10号
TEL(072)623-1173 FAX(072)622-6132

URL: <http://www.ubemachinery.co.jp>

自走式プラント導入で生産効率化

美山事業所

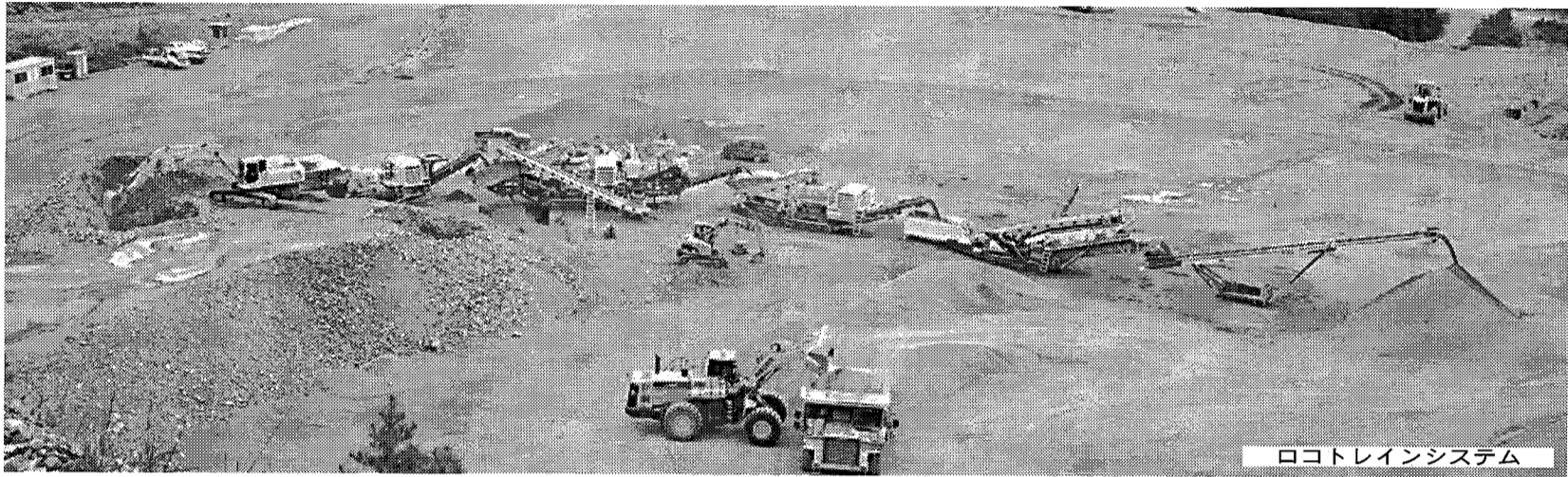
新設備で品質向上



桐原晃一郎 所長

ロコトレインシステム(処理能力200トン/時)は、ショークラッシュヤLT106、コンクッラッシュヤLT300HP、整粒機バーマックLT7150、篩機ST4・8などで構成。20×0.8などで構成。20×0.8(152ト/時)と4号(30×20、47ト/時)を生産する。4号のほとんどは再投入。一部を雨水浸透ますの工事向けなどに出荷する。20×0.8はタンポトラック(46ト積み、コマツ製)で、骨材分級・砕砂生産設備(日東機器エンジニアリング設計・施工、167ト/時)に搬送する。

骨材分級・砕砂生産設備では、水洗式振動篩機(アイステクニカ製)で2005と7号(5×2.5ミ)に選別。2005の粒形判定実積率は60



ロコトレインシステム

以上。「需要家からは品質が上がったと評価を得ている」という。

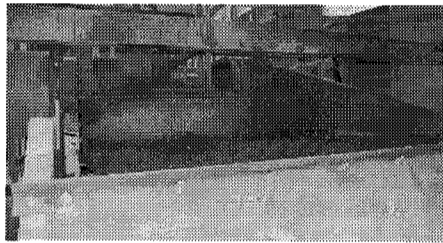
7号はボールミル(同製)で微砂などを除去し、砕砂(FM3・00)と2.95として製品化する。

新設備の導入について芳村社長は「長期的な需要想定がしにくいことから、設備をコンパクト化した。繁忙期などの需要増への対応は、操業時間の延長などで補う」考え。

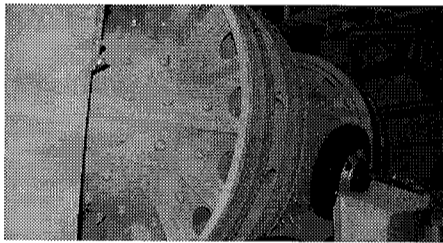
汚水はシックナーやフィルタープレスなどで構成する処理設備(東急設備製)で脱水ケーキと水に分ける。

重機は7割がコマツ製。「休日のメンテナンス対応などの融通がきく」と桐原晃一郎美山事業所長。

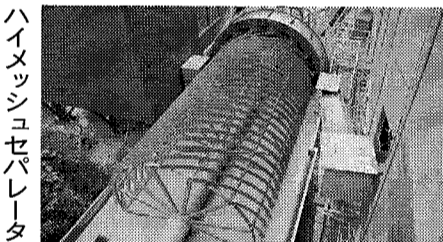
水洗式振動篩



ボールミル



ハイメッシュセパレータ



環境・防災対策を徹底

主要プラント(ロコトレインシステム)を砕石場の奥(入口から約150m)に設置したことなど、事業所から外に漏れる音は50dB(閑静な住宅街と同等)となった。操業による騒音が大幅に低下したことで「地元住民からは評価されている」という。

切羽は法面傾斜60度、ベンチ高さ10mのベンチカット(切羽平均傾斜45度以下)。発破には残壁面保護のために行われる発破方法「プレスアリック・プラスチック」(PSB)を採用。一部切羽(風化硬質砂岩)に



時間95分の降雨に堪える洪水調整池



ロードスイーパー

は、土留や特殊な植栽で崩落対策を施す。砕石運搬道路は幅(10m)、勾配10%。地元イベント開催時には、中型バスが走る。植栽から20~30年経過している場所(事業所面積56分の約半分)は、都から残留植栽地(自然林と同等の環境)に認定されている。

環境・防災対策として03年、約1億円の費用をかけ洪水調整池を設置。時間95分の降雨量に堪えられる設計となっている。また、今年9月に完成した土留かん止堤(バ



9月に完成した土留かん止堤

度は、大地震発生時でも残土堆積場が円弧すべりしない設計となっている。

事業所は年数回、都消防に提供。消防大訓練やそのほか消防災害訓練、今年4回の大地震による建物崩壊や法面崩壊を想定したレスキュー訓練が実施されている。

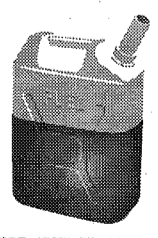
また、毎年開催される美山町健康フェスティバル、青少年対策地元委員会「美山、探石場のウォーキング」、地元工場見学会などの場として開放。地元住民が親睦を深める場として、また事業所の運営に理解を得るために行っている。

Cat® のハイブリッド油圧ショベル登場!



大幅な燃費低減、高い生産性、優れた環境性能にと、高い次元で具現化するニューテクノロジーを搭載したCat 336EL H 油圧ハイブリッド。お客様に燃料コストの飛躍的な低減をもたらす新発想の油圧ショベルです。

運転質量 : 35,600kg
標準バケット : 1.5m³ (旧 JIS 1.3m³)
エンジン定格出力 : 230kw



燃料消費量
従来機 336D* 比
最大
30% 低減
*作業量が最大のモード

燃料消費量の低減率は当社テストによる。稼働状況、作業内容により異なることがあります。

日本キャタピラ CAT